



謹んで新年のご挨拶を  
申し上げます



### 新しい年を迎えて

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 森山 喜代香

皆様方、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、我が国にとって未曾有の災害に見舞われた年でありました。東日本大震災から1年近くが経過しましたが、今もなお、仮設住宅での生活を余儀なくされている皆様方の姿を目にしますと、心が痛みますとともに、一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

このような状況の中、避難所では、地域の大人が子どもたちのお世話をしたり、全国からボランティアが集まったりするなど、地域の中で自分を活かしていこうとする力（公共力）が各地で見られたような思います。

私は、昨年9月に京都府で行われました全国社会教育委員研究大会に参加いたしました。大会では、前大阪大学総長であり哲学者の 鷺田 清一（わしだきよかず）氏が「震災を受けて、社会教育は何ができるのか？」というテーマで、基調講演されました。その中で、鷺田氏は、次のようなことを話されました。

- 人々は、文明が進むほど無能力になってきたのではないか。目の前の水が飲めないから、ペットボトルを配給している。震災時の東京の帰宅難民は、まず歩いて帰ることができないところから働きに来ていることが問題なのではないか。町の上を高速道路やモノレールが走っていることが、問題なのではないか。そんな町づくりをしている我々は、これまで当たり前だと思っていたことが、変だとやっと気づき始めた。
- 人々は「安全・安心な社会」を国が作ってくれるものと思っている。そこが、不幸の始まりである。例えば、料理を自分で作ることができなくなるなど、当然自分でしなければならなかったことができなくなってきた。また、共同で何かをする能力もなくなってきた。反面、サービス業（行政を含む）に対して文句を言う能力が身に付いた。サービス業は、クレームを付けられるのが嫌なので、様々な手段を使って住民がすべき役割まで担うようになった。その結果、地域コミュニティは崩壊した。
- これからの時代は、「自立」の概念を正しく捉えることが大切である。「独立」とは違う。いざという時に、「助け合うネットワーク」が使えるのが「自立」である。新しい公共は、地域住民として、受け身ではなく、「助け合うネットワーク」を積極的に構築することが必要である。
- これからのリーダーシップは、統率力ではない。周りがたえず、リーダーを交代すべき視点をもっていることである。退却する時は、殿（しんがり）を務める人間になれ。



私は、鷺田氏が言われました「助け合うネットワークづくり」こそが、これからの社会教育に必要なことだと考えております。そのためには、社会教育に携わる私たち自身が、今やるべきことを考え、それぞれと連携を深めながら役割を果たすことが大切だと考えます。それは、言い換えると、昨年を表す「今年の漢字」に選ばれました「絆」づくりにあると考えます。

すでに御案内のとおり、本年11月には、本県において、「語っちみろや やっちみろや かたい絆だ！ 社会教育」のテーマの下、第42回九州ブロック社会教育研究大会が行われます。本大会では、九州各地における社会教育の現状や課題をもとに、今後の「かたい絆による社会教育」について大いに語り、方策を考える場としたいと考えております。各市町村の社会教育委員の皆様方はもとより、公民館や子ども会などの社会教育関係団体の皆様方にもたくさん参加していただき、本大会がより意義のあるものとしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の益々の御健勝をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



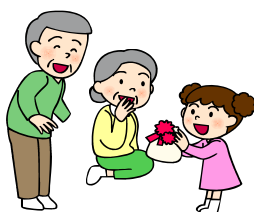
### 宮崎県社会教育委員研究大会・公民館経営セミナー の報告とお礼

去る12月14日（水）川南町の多大な御支援・御協力により、川南町文化ホールにおきまして標記の大会が約400名の社会教育関係者の参加のもと盛大に開催することができました。

大会では、川南町農林水産課 押川 義光 課長と県長寿介護課 稲森 健介 主任主事の御発表の後、宮崎大学工学部 原田 隆典 教授に「津波は人ごとではない」という演題により講話をしていただき、大変有意義な大会となりました。

また、発表と講話に先立ちまして、県社会教育功労者表彰、県社会教育優良団体表彰、県地域文化功労者教育長表彰、全国社会教育連合表彰を行いましたので、次面から御紹介させていただいております。誠にありがとうございました。

参加いただきました皆様方、御支援いただきました各市町村の行政担当者の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。



**本会報 発行責任者：宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局**  
住 所：〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号  
TEL：0985-26-7245 FAX：0985-26-7342  
E-mail：nagao-takehiko@pref.miyazaki.lg.jp（書記：長尾）